

2018年度立命館大学+R Challenge 奨学金

スポーツ健康科学部 募集要項

はじめに

立命館大学では、R2020 までの中期的な学園ビジョンにおいて、1人ひとりの学生が正課・正課外での様々な学習を通して、「専門的素養」と「Border を超える力＝人間的成長」を獲得することを目指し、学生モデルとして「学びの立命館モデル」をかかげています。大学の奨学金制度は、その実現を支え、励ますしくみとして位置づけられます。

+R Challenge 奨学金は、各学部において正課の成績が良好であり、学部の専門学習、全学共通教育（教職教育・教養教育・外国語教育など）、留学や国際的な学習を通して、問題意識を持ち、それを発展させて学習テーマを追求しようとする学生の学習プロセスを支援することにより、周囲の学生の学びと成長の模範となることを奨励することを目的としています。

スポーツ健康科学部では、本要項に基づき募集・選考を行います。

1. スポーツ健康科学部が+R Challenge 奨学金において求める学生像

●スポーツ健康科学部の人材育成目的は、簡潔に言うと、以下の4点に重きを置いています。

- ①スポーツ健康科学の専門的知識の涵養（専門的知識の涵養）
- ②グローバル
- ③リーダーシップ
- ④社会の発展に寄与

●これらの点から、以下のことを志向する学生を、本奨学金において支援します。

第1に、個別の知識・技能の獲得に関わる内容でチャレンジしたい学生を支援します。これは、何を知りたいのか、何ができるようになりたいのか、に関連します。

例) 国内外のトレーニング施設およびトレーニングの現場を見学し、日本のスポーツ科学の発展について考察したい (②・④)

・高地に行ってトレーニングし、文献で得た知識を理解したり自分の仮説を実証したりしてみたい (①)

・プロスポーツ運営の現場をみてスポーツマネジメントの内容を深く理解したい (①)

・日本の学会・ワークショップに参加し、研究交流したい (①)

第2に、思考力・表現力・判断力等の獲得に関わる内容でチャレンジしたい学生を支援します。

これは、知っていること・できることをどう使うか、に関連します。

例) 途上国の子どもたちにスポーツの楽しさを伝えたい (④)

・スポーツ指導実習で学んだ知識・技能を活用して、地域の子どもの高齢者を対象にしたワークショップを開催したい (④)

・リーダーシップ論等で学んだ知識・技能を活用して、スポーツ健康科学部の上下回生の交流を促進する企画を立案し実施したい(③)

第3に、主体性・多様性・協働性・学びに向かう力・人間性等の獲得に関わる内容でチャレンジしたい学生を支援します。これは、できるようになった力を軸に、どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか、に関連します。

例)・海外の学会・ワークショップに参加し、研究交流をしたい(②)

・海外のスポーツの指導現場をみて、指導に関する交流をしたい(②)

●本奨学金は、奨学金を得ることで、その目的を達成しようとすることを励ますものです。応募段階で達成できていなくても、それを達成するためのものであることを理解して記載してください。

<これまでの採択テーマ例>

*本制度は2017年度から開始した新制度のため下記は上回生(2-4回生)のテーマのみです

科学的知見に基づくスポーツ指導者・教育者になることを目的とし、実験・研究結果を選手・チームへ還元できる仕組み作りのための、他大学・機関調査を実施する。

将来開発途上国における科学的根拠に基づいた陸上競技の指導に携わることを目的とし、大学院生を中心とした陸上競技部サポートチームでの活動や、国際協力理解講座や国際協力セミナーシンポジウムへの参加を通じて必要な知識・見地について学ぶ。

米国公認アスレティックトレーナー資格を得るために、アメリカのEast Stroudsburg Universityの大学院にて2年間学ぶ。また2017 Biomedical Engineering Society Annual meetingにて研究発表を行う。

将来、スポーツ振興を通じた「健康」「スポーツ」「教育」の3分野から長野県の発展に貢献することを目的とし、長野県において「信州型自然保育認定制度」を実施している保育の現場や、似た取組みをしている他の自治体へ調査・ヒアリングを行う。

2. 採用人数

(1) 採用対象回生は、1~4回生です。

(2) 採用人数は、1回生6名、2~4回生10名の計16名です。

3. 給付金額

1学生あたり15万円

4. 募集

1回生は秋に、2回生~4回生は春に、募集を行います。

出願受付期間は、以下のとおりです。

1回生: 11月1日(木)~11月16日(金)

2回生~4回生: 5月17日(木)~6月1日(金)

5. 出願

奨学金の受給を希望する者は、期日までに所定の出願書類をスポーツ健康科学部長に提出してください。

6. 出願資格

+R Challenge 奨学金に出願できる者は、次の資格を満たす者としてします。

- (1) 出願時に在学しており、前年度（1回生は前学期）に在学または留学していた者。
- (2) 成績基準
 - 1回生は、以下を基準とします。
 - ①春学期に修得した卒業に必要な単位の GPA が上位 1/2 以上であること。
※基準となる GPA は、10月31日（水）に manaba+R で公表します。
 - ②春学期の必修科目および履修指定科目を修得していること
 - ③基礎演習 I での評価が B 以上であること
 - 2～4回生については、以下を基準とします。
 - ①前年度春学期もしくは前年度秋学期に修得した卒業に必要な単位の GPA が上位 1/2 以上であること。
※基準となる GPA は、5月16日（水）に manaba+R で公表します。
 - ②前年度 30 単位以上修得していること
 - ③前年度の小集団科目 4 単位分が全て B 以上であること
- (3) その他の基準
チャレンジしたい内容が明確であること。
- (4) 立命館大学学則第 57 条による停学の懲戒を受けた者は、懲戒の期間が含まれる年度の出願をすることができません。
- (5) 本奨学金は、卒業時までには 2 回まで受給することができます。

7. 出願書類（記載内容）

- (1) 奨学金を得ようとする目的・これまでの学習・学生生活で学びえたこと
- (2) 活動計画
- (3) 期待される効果
- (4) 成果公表方法

8. 応募方法

- (1) 提出物
所定の申請書（A4 2 ページ以内）
- (2) 提出期日
1回生：11月16日（金）17：00
2～4回生：6月1日（金）17：00

(3) 提出先

スポーツ健康科学部事務室

9. 選考基準および方法

以下の選考基準にもとづいて得点化し、得点の高い者から順に採用します。

- (1) 成績
- (2) 活動実績
- (3) 達成目標の明確性
- (4) 活動計画の具体性および実現可能性

<選考方法>

1次選考：申請書に基づく書類選考、2次選考：面接

10. 結果の通知

スポーツ健康科学部長は、奨学生に対して、以下のとおり受給の決定および受給の手続きを manaba+R にて通知します。

1 回生：11 月 30 日（金）

2～4 回生：6 月 22 日（金）

11. 奨学金給付証書授与式

以下のとおり、授与式を行います。奨学金の受給が決定した方は出席してください。

日程は予定ですので、確定日時については決定通知を確認してください。

2～4 回生：7 月 3 日（火） 12:20～12:55 場所：アカデミックラウンジ

1 回生：12 月 11 日（火） 12:20～12:55 場所：アカデミックラウンジ

12. 奨学生の公表

学部・学科・氏名をホームページ（学内のみ）で公表します。

13. 奨学生に求める役割・義務等

奨学生は、以下のことを行うことを義務づけます。

- (1) 学習成果報告書の提出
- (2) 大学から求められた場合、活動報告会等における発表（ポスター発表等）
 - ・自分のチャレンジを、下回生に対する講義等の中で、発表すること
 - ・スポーツ健康科学部の広報（FB 等）を媒体として、自分のチャレンジの内容や進捗を月 1 回公表すること

14. 給付方法

手続きを完了した者に対して、給付金額全額を一括して給付します。給付は、本人名義の銀行口座への振込みにより行います。

15. 給付の取消

学籍を失ったとき、停学の懲戒を受けたとき、正当な事由なく奨学生としての義務を果たさなかったときなどには、給付を取り消し、返還を求めることがあります。詳細は、規程を確認してください。

16. 他の奨学金との併給について

+R Challenge 奨学金は、西園寺記念奨学金（成績優秀者枠）、アスリート・クリエーター育成奨学金、スポーツ能力に優れた者の特別選抜入学試験特別奨学金、文化・芸術活動に優れた者の特別選抜入学試験特別奨学金、立命館大学+R 校友会未来人財育成奨学金（成長支援）と、同一年度に併給することはできません。

以上